

2021年5月31日

SOMPOホールディングス株式会社

日本初のESG重視型ベンチャーキャピタル・ファンドへの出資

SOMPOホールディングス株式会社(グループCEO取締役代表執行役社長:櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」)は、MPower Partners GP Limited(共同設立者:キャシー松井・村上 由美子・関 美和、以下「MPower Partners」)が設立した投資ファンドMPower Partners Fund L.P.(以下「MPower」)への出資を決定しましたので、お知らせします。

1. MPower の概要

MPower は、日本初のESG重視型ベンチャーキャピタル・ファンドであり、社会的課題をテクノロジーの力で解決しようとする起業家を支援し、ESG(Environment, Social, Governance)を戦略に組み入れることで持続的な成長を促すことを目的としています。

ファンド名称	MPower Partners Fund L.P.
運営会社	MPower Partners GP Limited
ファンド総額	1億5,000万米ドル(予定)
投資対象	日本のスタートアップ企業(ミドル～レイターステージ)および一部海外のスタートアップ企業(アーリーステージ)
重点投資分野	ヘルスケア/ウェルネス、フィンテック、次世代の働き方/教育、次世代の消費者、環境/サステナビリティ

2. 出資の背景・目的

SOMPOグループは、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質の商品・サービスをご提供し、社会に貢献することを経営理念としています。社会の共通課題であるSDGsを経営に取り込みながらステークホルダーとの積極的なパートナーシップを通じて持続可能な社会の実現に向け、さまざまな社会的課題の解決に取り組んでいます。推進体制としては、グループCOOを議長とする「グループサステナブル経営推進協議会」を設置し、SOMPOグループ全体としてESGを含めたサステナビリティへの取組みを強化しています。

SOMPOグループは1992年に国内金融機関で初めて地球環境室を設置し、早くから事業を通じてESG課題に取り組み、社会価値の創出に力を入れてきました。MPowerの設立趣旨である「スタートアップが持続的に成長し、世界にインパクトを与える規模に拡大するためにはESGを成長戦略の一部として組み入れることが不可欠であり、また成長性のあるスタートアップにESGを実装することが、金融市場ひいては社会全体の健全な未来をもたらす」との考え方に共感し、このたびファンドに出資を行い、ESGを社会実装する活動に参画していくこととしました。

3. 今後について

SOMPOグループは、本件出資を含め、未来に向けた対話を通じてステークホルダーと積極的に関わりあいながら、さまざまな社会的課題への配慮を事業プロセスに積極的に組み込み、人々が安心・安全・健康に暮らすことができるレジリエントで包摂的かつ持続可能な社会の実現に貢献していきます。

MPower Partners 村上由美子氏からのコメント

SOMPOホールディングス様はサステナビリティの推進において世界最先端の取組みを行われてきた企業です。またデジタル戦略を通して生産性の向上、ビジネス創出、社会課題の解決に貢献されてきました。私たち MPower Partners も、テクノロジーを利用して持続的社会的な実現に寄与するスタートアップを支援し、ESGを成長戦略に組み入れることで社会経済の発展に貢献することを目指しています。サステナビリティのリーディング企業であるSOMPOホールディング様と共にスタートアップエコシステムの変革を実現し、包摂的で持続可能な社会の推進に取り組めることを大変光栄に思います。

【ご参考】

MPower の投資チームメンバーについて

- ・ キャシー松井氏
ゴールドマン・サックス証券会社元日本副会長およびチーフ日本株ストラテジスト。1999年に「ウーマノミクス」を提唱。
- ・ 村上 由美子氏
OECD(経済協力開発機構)東京センター元所長。内閣府、経産省、外務省などの審議会委員を多数歴任。
- ・ 関 美和氏
モルガン・スタンレー投資銀行部門を経てクレイ・フィンレイ投資顧問元東京支店長。ベンチャー領域のベストセラー書籍を多数翻訳。
- ・ 鈴木 絵里子氏
米国ドローンベンチャーの日本法人を立ち上げ。ミスルトウ株式会社、フレスコ・キャピタルにてベンチャー投資に従事。

以上